

令和元年度

第12回邑南町議会意見交換会

報告書

(令和元年12月13日)

邑南町議会

邑南町議会では、平成19年に議会基本条例を制定しました。その第4条第3項において、「議会は、町民と意見交換の場を多様に設けなければならない。」と規定しています。

これにもとづき、平成20年度から毎年、町内各公民館で議会と町民との意見交換会を開催しています。今年度の意見交換会テーマ、開催状況と、近年の状況は下表のとおりです。

I 令和元年度テーマ

持続可能な地域づくり

～将来を見据えて今すべきことは～

※以上のテーマを中心に様々なご意見をいただくとともに、意見交換させていただきました。

12回目を迎える今回の議会意見交換会は、「持続可能な地域づくり」をテーマに開催しました。年々、意見交換会は質問や要望中心の交換会から、町の将来、身近な地域の問題などについて話し合う場が変わってきています。

私たち議員も、できうる限り参加したみなさんと「町の将来」「身近な地域の問題」などについて共に考え話し合っていきたいと思っています。

今回は、意見交換会の取りまとめ方を変え、話し合った内容やいただいた意見のみを載せました。

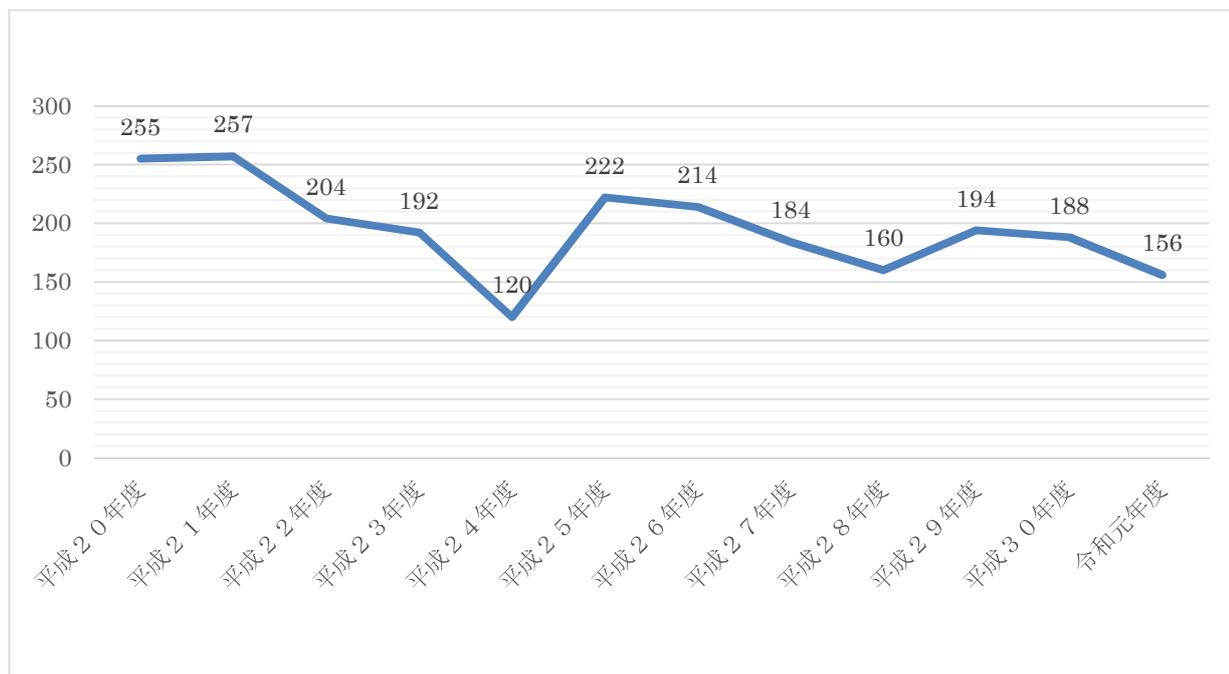
いただいた意見は、委員会での協議、担当課への調査及び一般質問など議会、議員の活動に生かしていきます。ご参加をいただいたみなさん、ありがとうございました。

Ⅱ 開催状況

第12回意見交換会出席者数

開催日	開催場所	出席者数
7月10日(水)	布施公民館	15人
	日和公民館	14人
	出羽公民館	17人
	日貫公民館	20人
7月16日(火)	井原公民館	16人
	市木公民館	15人
	矢上公民館	18人
	口羽公民館	5人
7月17日(水)	中野公民館	10人
	田所公民館	5人
	阿須那公民館	17人
	高原公民館	7人

Ⅲ 近年の状況 (意見交換会参加者数)



IV会場別目次

布施公民館	……	1 ページ
日和公民館	……	1 ページ
出羽公民館	……	2 ページ
日貫公民館	……	3 ページ
井原公民館	……	3 ページ
市木公民館	……	4 ページ
矢上公民館	……	5 ページ
口羽公民館	……	6 ページ
中野公民館	……	6 ページ
田所公民館	……	7 ページ
阿須那公民館	…	8 ページ
高原公民館	……	9 ページ

* 付属資料 議会アンケート調査結果に対する各課からの回答

布施公民館まとめ

- 地区別戦略を自治会と活動組織で行っている。持続可能な地域づくりに向けて取り組んでいるが高齢化も進み厳しい。国の政策である地域包括ケアに特化した活動を進めるほうが良いのではないかと。財政についても厳しいことを町民に説明したほうが良いのでは。
- 地区別戦略について、いろいろ試行しながら取り組んでいるが人材、財源的にも限度がある。必要なデータを出してほしい。補助金も大きなものだけでなく、小さなものでも良いので継続してほしい。
- 「しごとづくりセンター」はどうなっているのか。公認会計士や弁護士は優秀だが後の結果を判断するのが仕事であり、新しい分野を開拓するのは不適當だと思う。
- 「しごとづくりセンター」のセンター長は高額な報酬だが反対など意見はなかったのか。
- 「しごとづくりセンター」は、邑南町の人口で抱えるのは無理なのでは。広域連携すべき。
- 人口を増やせといっても住民だけの取り組みだけでは不可能。国や県に期待するしかない。
- 新知事も農業振興に力を注いでいただいていると思うが、鳥取県知事は営業部長として頑張っている。島根は米が主流で目立つものがない。鳥取県はスイカ、梨、など全国的なものがある。
- 行財政改善計画はどうなっているのか。
- 矢上診療所について。近くに邑智病院があるのに大きな施設ができた。議員は反対しなかったのか。医師を大田駅まで送迎している。その費用だけでも大変ではないか。
- 阿須那診療所はどうなっているのか。
- 邑南野菜の定義とは

日和公民館まとめ

- 役員をする人がいない、班（集落）ごとの人口差などの問題で自治会の維持が難しくなってきた。日和の3自治会を一つにすれば役員が少なくて済むが、町の補助の均等割りの20万円が、3つが一つになっても60万円なら良いが20万円なら補助金の総額が減ることになり自治会の予算が成り立たないと思う。
- 年々、日和の人口は減っている。若い人の結婚の問題もある。若い人は仕事で精一杯で自治会のことまではできない。しかし、地区別戦略事業は若い人が中心に良く頑張ってくれている。地区別戦略事業の交付金は今年度で終わりである。地区としては交付金がなくてもやっていけるようにしたいが現状では財源の確保は難しい。減額してもよいので町の支援は続けてほしい。

- 中山間地域は人口減少が大きい。特に若者が定着しない。安定した職場がないからだ。地区に企業を誘致してほしい。
- 集落によっては、農業をする人がほとんどいなくなっている。若い人は農業に興味がない。農業振興をどうしていくのか。勤めながら土地を守る、農業をする方法も考えてほしい。
- 地域に人がいなければ何もできないし、何も始まらない。公民館単位であっても人口の差は大きい。これからは旧町村単位でものを考える必要がある。日和は日貫と一緒に「日日良品」として商品開発に取り組んでいる。他地域と連携するにしても道路事情の悪いところがある。日貫川本線は早期に改良してほしい。
- これからは介護や医療の問題を個人から地域で考えなければならなくなっている。独居や高齢者世帯が増える中で、地域で支えあうのはとても大変である。議会も応援してほしい。
- 高齢ドライバーによる交通事故が問題となっている。自治体によってはタクシー代の補助、バス料金の補助金を支給しているが本町はどうなっているか。

出羽公民館まとめ

- 行政が改革をやって行くのは当然であるが、議会の改革とは何をどうするのか。議員定数について、議員はどう思っているのか。
- アンケートの取り方について、今後町を担っていく若い年齢層の回答が少ないが、アンケートの取り方に問題は感じていないか。もっと若い人の意見を得ることが重要ではないか。また、アンケート回答のお礼の欄に、「議会関係以外のご意見・ご要望については、町当局に伝えておきます」という文言は、アンケートをただで、フォローをしないように受け取られかねない。
- 三江線に対する議会での議論の内容が知りたい。また、資産を取得してやると決まった以上は議会も積極的に進めるという姿勢を示すべきではないか。
- 道の駅瑞穂の整備の進捗状況を教えてほしい。
- 町の人口についての議会の認識は。UIターンが減ってきているのではないか。人口を増やす良い施策を議会でも考えて欲しい。
- 地域包括ケア、介護予防などに対して、今後の国からの財政支援は増えていくのか。
- 木育について、2016年にウッドスタート宣言をされ、その後このことについて施策を展開されていることは評価する（H22年には公共事業に関して木材利用促進の法律が出来ている）。しかし、この事を知らない町の職員さんがおられることに驚いた。議会として、「公共の物は必ず木造」という考えで法に基づいて粛々と進めて行くよう対応していただきたい。

●議員の成り手が無いという件で、以前、海外の視察をした時に、兼業の禁止の緩和や、夜間の議会開催で議員の成り手不足を解消したという例があった。邑南町もこうした取り組みをしたらどうか。

日貫公民館まとめ

●意見交換会の会場の構成を教室形式でなくグループに分散したらどうか。意見が出やすい会場設営が必要である。

●交通の利便性を高める方策を求める。日貫地区は邑南町の西端で交通の便が悪い。道路網の整備や地区内循環の交通手段を整備してほしい。

●町営住宅の建設に優先順位を付けてほしい。日貫地区の町営住宅で老朽化しているものがある。改築を求めると順番がある旨の回答であるが、人口減少対策の観点で住宅件数が少数、人口少数地区を優先し、地区に若者が定住する施策が出来ないか。

●改修すれば住める古民家の改修にかかる経費の助成と、危険空き家の改修や撤去を促進してほしい。

●生きがいのある老人活動の推進をしてほしい。引きこもり気味の人の参加を促す取組みを教えてほしい。

●砂防ダム（治山ダム）に樹木が生えているが管理しているか。

●県の道路パトロールは、道路側溝に物が詰まっても除去作業をしない。安全確保の為に整備してもらいたい。

●道路上に大木の倒木があった。県道・町道の危険箇所の把握と危険周知、事前撤去などの解消を進めてほしい。

●日貫公民館進入路へ外灯の設置を求める。

●日貫診療所横の公衆トイレに洋式便器の設置を求める。

●福原自治会館の修繕をしたが、自治会の負担が大きかった。町全体でも同様の事案があると思うが良策は無いか。

●日貫小学校の取組みを産業振興に活用してはどうか。

井原公民館まとめ

●井原公民館と体育館は、町内の他の公民館と比べて老朽化している。また、井原地区には古い農機具や古道具が多くある。公民館に歴史民俗館を併設して新しく建て替えてほしい。

- 生活交通拠点である井原駅を雲井の里に併設してほしい。
- フィンランドの日の制定を議会で否決したのはなぜか。
- 国道261号沿いにフィンランドゴールボールチーム合宿決定の懸垂幕や看板塔を新たに建ててほしい。
- 井原老人会は、はつらつ活動として交通安全運動を積極的に行っており、先日県表彰を受けた。免許返納のことも考えなくてはならないが、実際の生活や農業のことを考えると返納には躊躇している。高齢者が運転する車に事故防止の安全装置を取り付ける場合に補助を始めた自治体があるが、邑南町してほしい。免許返納の問題は高齢者の生活の大きな問題だ。地域公共交通について、町としてもっと大きな問題として考えてほしい。
- 町の中心部から離れた集落のことをもっと考えてほしい。
- 石見中学校の改修計画が進んでいるが、同時期に建設された瑞穂中学校も老朽化がかなり進んでおり、近い将来建て替えが必要となるのは明白だ。将来的なこと、部活動、今後の子どもの数、町の財政等あらゆることを含めて、本気で学校の統廃合やあり方を考える時期ではないか。町民を巻き込んで、もっと活発に議論をすすめてほしい。
- 矢上高校魅力化について、実際に生徒や保護者が思う魅力と、行政が進めている魅力に乖離があることが、町内進学者が伸び悩んでいる要因なのではないか。10年、20年先まで考えて動く必要があると思う。1つの案ではあるが、例えば矢上高校を県から町が払い下げて引き受け、既に町と協定を結んでいる東京農大や慶応義塾大学などとタッグを組んで、町立高校として特色・魅力のある学校としても面白いのではないだろうか。
- 人口減少問題と働き場の確保は繋がっているのではないか。町の特性である『インターネット整備済』『広島からのアクセスの良さ』『地震災害が少ない』をもっとアピールして企業誘致をしてはどうか。
- 電動シニアカーが通れるように歩道を整備してほしい。
- 児童生徒と一緒に通学路点検をしたが、かずらが伸びて歩道がふさがれているところが数か所ある。自主ボランティアで刈ることもあるが、業者に依頼する草刈りの頻度はどうなっているのか。

市木公民館まとめ

- 県道田所国府線は、議会の特別委員会を設置していないのか。
- 10月からの消費税増税については、カード決済等の導入でポイント還元や値引き等の取り扱いが行われると聞けるが、私たちの住む中山間地ではカード決済等はあまり行われなれないと思う。不公平感があるので消費税増税を平等な形で実施してほしい。

- 三江線資産の無償譲渡を受けることとなった経緯と解体する場合の解体費用の捻出はどのようにするのか。
- 江の川鐵道による鉄道資産活用の構想は、経営的に安心だと説明会で聞いたが、地域おこし協力隊の給料は支出に反映されないの、収支状況は良好となるのは当然である。今後の本格的な取り組みが行われるにあたり、持続可能な運営が重要である。議会はその状況を把握して正常な運営が行われるよう見守りをしてほしい。
- 今後、高齢化がさらに進んで高齢者は移動することが困難になることが予想される。そのため書類提出や住民票等の交付など、公民館は役場の受付窓口として支所的な役割も果たしてほしい。
- デマンド交通を実施するには、タクシー会社の了解が必要だと聞いたが本当か。
- 車の運転が今後不安である。良い交通手段はないものか。
- 車のアクセルの安全装置を設置する改修に、都会地では補助金が出ると聞く。邑南町ではどうか。
- 瑞穂インターの駐車場は傾斜地であり外灯もない。冬期は特に危険を感じるので改善してほしい。
- 人口減少時代となり、空き家があちこちに増えてきた。危険空き家が多くなることを心配している。危険空き家が増えない対策として、空き家を解体する場合の補助金制度を検討してほしい。
- 議員定数はどのようにするのか。
- しごとづくりセンターは今後どのようにしていくのか。

矢上公民館まとめ

- 基幹産業である農業の所得対策、鳥獣害対策に取り組み子どもたちに引き継げるよう持続的な対策を考えてほしい。放牧、そばなどコメ以外の取り組みも考えなければいけない。以前は農村にお金を入れる方法として米価を上げることにより不動産価値を上げ農村を豊かにしてきた。今は、地代はタダの場合が多い。土地に価値がないと農業に投資ができない。米以外の作物の取り組みや施設園芸などに投資できるのは都市近郊だけだ。
- 地域にとって議員の存在は大きい。これからも町民の代表として頑張ってもらいたい。
- 大林銀山の保全と田所の郷土館をもっと活用し、貴重な文化財を後世に残すことを考えてほしい。町内には重要な歴史的史料も多いので、もっと多くの人が見る機会を増やすべきだ。
- 竹島は県としての問題かもしれないが、町や町民も関心を持つべきだ。子どもたちは学校で学んでいるので、大人も関心を持ってほしい。
- 夏になると道路の草刈りがされてきれいになる。しかし、法面の上の木が年々大きくなって生い茂っている。倒木が心配だ。近隣ではサルが多く出没している。倒木、サルの出没、農地の荒廃、外来種の草の侵入など生活環境の悪化が心配。

- 空き家は多くあるが、町のホームページにある空き家情報の件数は少ない。また、空き家の程度もわかりにくい。空き家を貸せない理由を把握して対応を考えて貸せる空き家を増やしてほしい。
- 町としては、人口減は地方交付税の減少・施設の維持管理の負担増など悪循環である。地域としても人口減は、労働力の確保・地域行事の維持など大きな問題である。個人では家の跡継ぎの問題がある。若い人には屋号の意識も低い。
- 矢上高校は存続するよう努力してほしい。
- 町内の施設の使用料の公平化。体育館の使用には照明料はかからないが石見スタジアムは照明料がかかる。施設間で不公平。
- 総務教民委員会の教民の意味が分からない。行政文書、広報、議会等でカタカナ語が多くなっている。できるだけ少なくするか注釈をつけてほしい。

口羽公民館まとめ

- 水面下で学校統廃合が進められているのではないか。子ども安全センターの予算が大幅に減らされたのはなぜか。
- 地方創生、地区別戦略は公民館単位で進められているが、成果がわからない。
- 森林管理ができていない。個人では困難である。
- 町営住宅の空き家の草刈りなど管理がされていない。周囲に迷惑がかからないように管理を徹底してほしい。
- 経営が継続できるよう、農家民泊家屋の修繕、建て替えに補助してほしい。
- 地域おこし協力隊の住宅探しに行政は協力しないのか。
- 香夢里の運営はどうなっているのか。
- 男女共同参画の推進のために、女性の参画を義務化し条例化すべきだ。
- 防災行政無線がアナウンサーによっては聞き取りにくい。
- 一般質問再放送スケジュールのお知らせを多様化して徹底してほしい。

中野公民館まとめ

- 人口減少のスピードが速い。人口ビジョンは達成可能か。

- 「日本一の子育て村」「A級グルメ」で良いのか。効果の検証が必要だ。また、それらを含めた情報の共有が必要。町民主体が忘れられていないか。
- 学校のあり方について。小規模校が教育環境として適切か。
- 学校は地域の拠りどころ。統廃合は「日本一の子育て村」に反する。
- 現在の予算規模は適切か。人口減に合わせて縮小すべき。
- 高度経済成長時代の建築物が老朽化している。対策は。
- 町内循環経済は成立するのか。商工業者の経営感覚にも磨きが必要。町の特産品が外向けで、町内に回っていない。
- 50年前の造林の成果は。お金にならない。
- 自治会再編・統合について行政としての対応を。
- 自治会発足以来 50 年を経て自治会館も老朽化している。対応策の検討を。また、自治会館は緊急避難場所になっているので、トイレの改修等を検討してほしい。
- 外国人居住者の数は。それは、人口に含まれるのか。
- しごとづくりセンターの効果は。
- 事業承継について外部から後継者を募集してはどうか。
- 空き家対策として、専門員を配置し、オーナーとの連絡を取ってはどうか。
- 選挙立会人を同じ人が務めている。意識向上のために公募してはどうか。
- Uターンに力を入れて欲しい。定年後にでも帰ろうと思える町に。
- 基幹産業と言いながら、農業者が高齢化している。農業後継者についての考え方は。
- 意見交換会のテーマは夢を持たせるものに。

田所公民館まとめ

- 中組住宅を例にするが、町営住宅に若い人が増えてきて現状が把握できない。住宅が入ると集落としても大きくなりすぎる。町営住宅のみで一集落として役員を選出や共同作業などを検討すべきでないか。
- 限界集落が増加してきている。集落再編も今後の検討課題である。
- 子供会の把握ができない。集落内、自治会内の子供さんを把握することが難しい。特に住宅への出入居についても情報が入らない。
- 集落が全体的に低地で水害に見舞われやすい。大分改良されて良くなってきたが心配。避難命令が出ても避難したほうがいいのか逆にしないほうがいいのか、集落内での話し合いが重要。避難所への食糧の配食が人数分なかったことがあった。

- 田所地区は、なぜ、こうした議会意見交換会等への出席者が少ないのだろうか。町が行う町政座談会への出席者も同様。
- 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度など事務的にもわかりにくく、高齢化する中で対応できない地区が増えている。
- 道の駅瑞穂の進捗状況は。基本構想以来、建物の位置、全体構想など様々話は聞くが、地元の意見を言える機会があるのか。地元説明会の開催を望む。
- 7月から禁煙対策が始まったが、町の対応は

阿須那公民館まとめ

- 一般質問の質問者が少ない。また、質問も町民目線の質問をして欲しい。
- 議会アンケートでは若い人の意見が少なすぎる。関心を高める取り組みが必要ではないか。
- 意見交換会の時期が悪い。広報や議会報が配られたばかりで、町民の理解があつてからの開催が望ましい。
- 全員協議会や特別委員会など、重要案件の協議内容の公開を考えたらどうか。
- 高齢者の免許返納に対する対応策、また安全面での対策を推進して欲しい。タクシー助成だけでなく地域による生活交通確保の取り組みを進めて欲しい。
- しごとづくりセンターやフィンランド事業の受け入れなど、安易に飛びつき過ぎではないか。対外的なアピールよりも、町内の事案に目を向けて欲しい。
- 道の駅瑞穂の整備計画はどうなっているか。
- 浜田作木線高見工区の採石場付近の詳しい整備計画が不明である。高原交差点の安全対策が必要ではないか。
- 上雪田から岩屋の間が通行止めになっているが、開通の見通しの説明が欲しい。
- 羽須美～美郷線(宇都井～大和)の通行止めは不便である。状況説明もなく旧宇都井駅周辺でのイベントに影響が出るのではないか。
- 阿須那小学校から今西間の浜作線は雨が降ると歩行者に水がかかる道路状態なので調査して欲しい。
- 坂之上建設付近の浜作線が陥没している。また、雪田大橋を過ぎた 100m 位のところの横断側溝(グレーチング)が道路面より下がっている。
- 旧三江線の活用だけでなく地域の観光資源にも配慮して欲しい。

高原公民館まとめ

- 町財政が厳しいのは理解する。今年の予算も厳しい予算になっている。しかし、なぜ「子ども安全センター」の予算が3万円から半分の1万5千円になったのか。安全に関するものも一律でカットするのか。財源のある事業と財源がなく自主財源で行う事業の違いは町民にはわからない。
- 今後の議員定数の方向や動きは。定数は現状維持かできれば多いほうが良い。定数が減れば、地盤が大きくなり活動量も増えて若い人はますます議員になるのが難しくなる。
- 議会はアンケートを実施した。これからアンケートもとに議会は何をするのか。議会広報は写真が少なく字が多すぎる。
- 中山間地域等直接支払制度は来年から新たな5年間は始まる。集落営農に取り組みたいが法人にはしたくない。機械導入の支援はあるだろうか。
- 町全体の医療体制は。邑智病院があるのに矢上診療所を整備する必要があったのか。阿須那診療所は医師が退職して口羽の河野先生が対応するが、診療時間も短くなる不安もあるし、河野先生の負担が増える心配もある。大丈夫か。
- 空き家と荒廃農地の問題。残っている人でやるしかないが議会はどう考えているか。県議会でも質問があったが担い手のいない集落が大半である。農地中間管理機構は機能しているか。シルバー人材センターも単価が上がっていて草刈り等を頼むのも負担が大きい。町は耕すシェフや半農半Xなどに取り組んでいるが地域農業の担い手になっているのか。
- 議会での一般質問が少ない。以前、議員との意見交換会で一般質問が少ないことを指摘したら、議員それぞれの考えであるとの回答でガッカリした。町民に一番良くわかる議員の活動は一般質問である。議員のなり手が無いのは今の議会に活性がないからだ。
- 議員定数について。今後の動きはどのようなになるのか。